

動物研究部 和牛甲子園出場！ 日々の飼養管理や肉質を競う！



発表する加茂農林高校の生徒（18日、東京都港区で）

和牛飼育に情熱を注ぐ全国の「高校牛児」が、日々の飼養管理の工夫や肉質を競う和牛甲子園が18日、東京都内で開幕した。ほぼ全ての出場校が地域資源を活用した生産費の削減や、アニマルウェルフェア（快適性に配慮した家畜の飼養管理）の実践に挑戦。和牛生産の未来につながる成果を発信した。

「牛児」が集結 和牛甲子園

アニマルウェルフェア、餌代削減

農の未来開く成果発信

3年間の集大成を発表する取り組み評価部門では、飼料用米の給与によるコスト削減や、経験をカバーするためのスマート機器を活用した牛の健康管理に挑んだ岐阜県立加茂農林高校が最優秀賞を獲得した。

休日返上で牛と向き合い、距離を縮めてきたという3年生の橋本美桜さん（18）は「生き物相手の大変さもあったが、それよりも楽しさの方が大きかった」と目を潤ませた。

後輩にエールを送ろうと、会場には先輩牛児も駆け付けた。和牛甲子園2連覇を達成し、現在は実家の鹿児島県のミヤボク宮下牧

場で和牛生産に携わる宮下未来さんは、「高校3年間で牛を世話する楽しさを感じたことや和牛甲子園への出場を通じて、家業を継ぎたいという気持ちが強くなった」と話した。

大会2日目の19日には、高校牛児の頂点となる総合評価部門の最優秀賞が決まる。